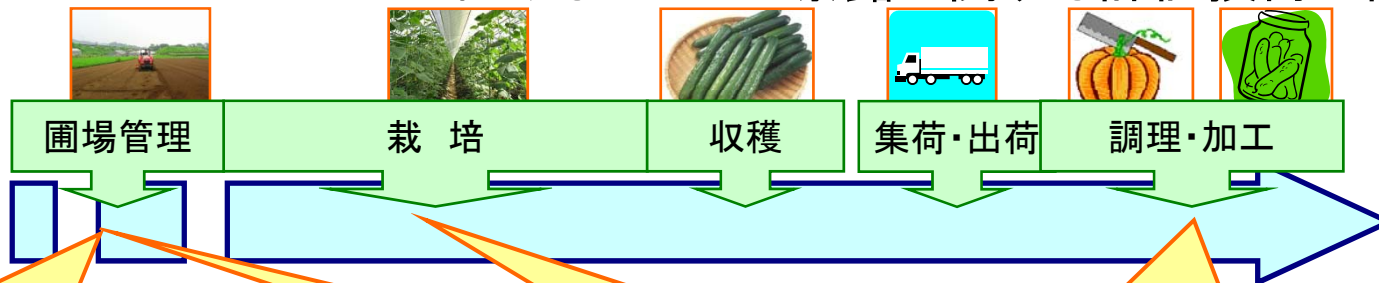


2100 フードチェーンにおけるPOPsの暴露に関する評価技術の開発



2110 作物汚染リスク
予測技術の開発

2120 作物体への
吸収・移行特性の解明

2130 調理・加工段階の
減衰要因の解明

栽培前予測（土を使って）

← 2310と連携

●2110 栽培前土壌の測定による
果実中濃度の予測と検証

・土壌中抽出法の改良と予測式の作成

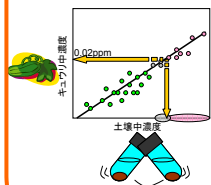
・資材の効果予測

※2210, 2220と連携

・多検体同時判定法の開発

※2320と連携

・実圃場での検証



栽培前・中予測（植物を使って）

●2120 幼植物検定

・汚染土壌で栽培した幼植物中濃度
と果実中濃度のつきあわせ、検証

※2210, 2220と連携



●2120 葉を用いた検定

・植物葉中濃度と果実中濃度のつきあわせ、
検証

※2210, 2220と連携

2110, 2120, 2310へ

調理・加工段階の消長

●2130 果実中の分布

・濃度分布の均質性の確認

●2130 調理・加工中の消長

・分解, 生成, 付着, 溶出等のマス
バランスの確認



栽培前予測（データベースを使って）

●2110 作物汚染リスクが高い地域
を推定

・農耕地土壌中POPs濃度の推移
を再現

・吸収・移行率を考慮し、モンテカル
ロシミュレーションで確率分布と
して表現



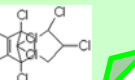
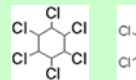
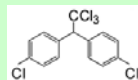
○2120 果実中濃度を規定する
要因の解析

・着果部位の濃度分布

・作型(時期), 品種の違い

・土壌種に応じた吸収・移行

・他のPOPs



到達目標

●収穫前に果実中POPs濃度を予測できる
技術を開発, マニュアル化

●POPsによる作物汚染リスクが高い地
域を推定

●調理・加工段階におけるPOPsの暴露
実態を評価